

1993~'94 RI会長テーマ

行動に信念を
信念は行動に



BELIEVE IN WHAT YOU DO
DO WHAT YOU BELIEVE IN

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

District 2760

ガバナー月信 1993.7
JULY NO.2

国際ロータリー
第2760地区



第84回 ロータリー国際大会（オーストラリア・メルボルン）にて、宮地ガバナーご夫妻。

第2760地区 ガバナー 1993-'94 宮地 信尚

〒442：愛知県豊川市豊川町辺通4-4

豊川商工会議所会館内

TEL.(05338)5-4500

FAX.(05338)5-6005

1993-'94年度 国際ロータリー 会長メッセージ



「クラブ会長としての挑戦」

メルボルン大会

ロバートR. バース会長主催昼食会

1993年5月24日 月曜日

皆様、よくお出で下さいました。妻のガーディも私も皆様とご同席できましたことを光栄といたしております。ここに次期クラブ会長並びにガバナー・ノミニー、またそのご夫人の皆様、一言、お祝いの言葉を申しあげ、来賓の方々を心から歓迎申しあげます。皆様は私のパートナーとして、また後援者として、88年にわたり活動が続けてきた私共世界的団体を率いて行くという意義ある任務をお引受け下さったのであります。私はロータリーの脈拍である皆様の役目を羨ましく思っております。皆様は私達の組織の底力となる多くのロータリアンと直接触れ合う人達なのであります。

ロータリーにおいてクラブ会長は極めて特異な役割を果たすことになります。皆様がロータリアンとなった日を思い返して見て下さい。その日は皆様の人生における分岐点となったに違いありません。その後、皆様はクラブの理事会の一員に指名されました。そして、今、間もなく次年度のクラブの会長に就任し、52回のクラブ例会に出席し、クラブが様々な重要な目標を達成するのを見定めようとしておられます。クラブ会員は皆様に期待をかけ、

また全ロータリー世界が皆様のリーダーシップを見守って行くに違いありません。

皆様は今、ロータリーを代表し、各自の地域社会においてロータリーの名称が意味する優秀性を顕示する責任を有しておられます。皆様はこれまでロータリーを商標名として考慮したことはなかったに違いありません。しかし、ロータリーという名称は製品を示すものであり、この製品こそは私達の奉仕なのであります。各製品には、品質、献身的な愛情、そしてまた責務などの概念が付随しております。ロータリーのトレードマークは歯車です。これは私達の人道的奉仕の優秀性を示すシンボルに外ありません。そして、この人道的奉仕こそロータリーが全世界に贈る製品であり、ロータリーの歯車が象徴するものなのであります。

ビジネスの世界においては、製造業者や商標名の使用者が責任訴訟に巻き込まれることがよくあります。しかし、良心的な製造業者は顧客に優れた製品を提供することを義務づけることでその商標名を傷つけないようにしています。ロータリーの世界でも同様に、私は、リーダーの皆様は、クラブを指導して行

く義務があると考えなければならないと考えております。

取引きを通じては、私達は優れた製品を提供することで顧客の信頼を獲得します。ロータリーの世界においては、私達は優れた奉仕を提供することで、地域社会の信頼を獲得する義務があるのです。私達はロータリーを特定の商標として認識させることを願っております。私達のトレードマークが優秀製品の一つであることを広く世界に認めさせるためには、特に充実した奉仕を提供することを義務づけ、意欲的に支援しなければなりません。訴訟の危険を冒すことは出来ません。しかし、私達はロータリーの信望を私達が提供する奉仕の質に賭けるのです。

リーダーになられた際、皆様は孤立したような感じを受けられるかも知れません。リーダーシップとは孤独のときもあります。しかし皆様は一人ではありません。援助を熱望する人達は大勢います。では、皆様が頼れる人達とはどのような人達なのでしょうか：まず、皆さんの生涯の伴侶、それから前任者、地区ガバナー、クラブの古参会員、実行グループのメンバー、R.I.事務局職員、また申すまでもなく26,000を超えるクラブの会長、そしてこの国際的組織の傘の下に参集する約120万人の朋友会員がそれらの人達です。

リーダーシップの役割を果たすに当たっては皆様の個性、技量、専門的体験、ロータリーに対する信念などがあります。皆様は命令者ではなく、リーダーなのであります。

ではここで、ロータリーのリーダーとしての原則の幾つかを述べて見ましょう。

「これをやれ、あれをやれ」と言う代わりに、皆様のクラブ会員には「これを一緒にやりましょう」と言って下さい。

また、「私」と言う代わりに、「私達」と言った方が更に多くの人達に呼びかけることにな

ることを忘れないで下さい。

もしも皆様が“leading”（指導する）という言葉の持つ意味を一層よく理解したいと考えるならば、“misleading”（誤って導く）という言葉と比較して見て下さい。リーダーシップは肯定的と否定的な意味の両方を持つことが出来ます。皆様が誤って導くならば、皆さんは否定的な影響を及ぼすリーダーに終わるでしょう。クラブの会員を誤って導くということは、誤った方向に向かわせるという意味です。一方、皆様の能力や才能を活かせば、皆様は肯定的な影響を及ぼすリーダーとなり、皆様の指導の下に、クラブ会員をロータリーのために意義ある活動を実施するよう説得することが出来るのであります。

私共26,000のクラブ会長の地位は、皆様が全世界のロータリアンの一人一人を代表しているという事実に基づくもので、極めて特異なものであります。それと同時に、皆様は国際ロータリーの基盤を形成するロータリー・クラブの責任者なのであります。

今日、お帰りになり、私が、皆様が皆様のクラブ会員との接触を楽しんでおられることを羨ましがっていたことをお忘れにならないで下さい。皆様のリーダーとしての体験が実に豊かな、得るところの多いものであることをお祈りいたしております。そして、本年度が皆様のロータリアンとしての生涯を通じ、最も輝かしい年度となることを確信いたしております。

全力を尽くし、皆様のクラブの会員をロータリーの目標、関心、またプログラムにおける共通な信念の下に集結させて下さい。私は特に皆様が、協力して信念を行動に移すようクラブ会員を説得し、指導されるに当たり、最高の満足感を得られるよう願っております。行動に信念を、信念は行動に。皆様のリーダーとしてのご成功をお祈りいたします。



メルボルン 国際大会に出席して

(1993年5月23日～26日)

1993～'94年度
国際ロータリー第2760地区

ガバナー 宮地 信尚

1993年の第84回ロータリー国際大会は、オーストラリアのメルボルンで行われ、日本のガバナー・ノミニー33名は成田と大阪空港より出発しましたが、私は名古屋空港よりシドニーを経てキャンベラのホテルで皆様と合流しました。首都キャンベラに一泊後メルボルンに着き、翌日より大会に参加致しました。

116ヶ国2万2千名以上の登録で、当地区からも多数の会員の方々に参加していただきました。登録数は1位オーストラリア8,550名、2位米国4,880名、3位日本3,288名、4位ニュージーランド667名、5位韓国522名、6位台湾442名等でした。

メルボルンのホテルは世界中のロータリアンとその家族で一杯であり、本会議場のフリーダース・パークナショナル・テニス・センターと補助会場のワールド・ कांग्रेस・センターと、各ホテルとの交通は20系統のシャトルバスが運行されており各行事をスムーズに挙行されており、R.I.役員、職員と地元ロータリアンのきめ細かい配慮には感じ入るばかりでした。

本会議はダクターマン会長の独壇場であり、開会式は例年のことながら16時からと、20時からの2回行われ、日本のガバナー・ノミニーは全員第1回の開会式に出席しました。187

ヶ国の国旗入場もスピーディーに行われ、会長演説はユーモアをまじえたすばらしい演説であり「まことの幸福は人助けから」を主とした奉仕の現況を話され、知り合いを広め、旧交を温め、周りの人々に感謝の言葉を言って下さいと述べられております。

第2日の本会議は、国連代表「アジアと太平洋地域経済および社会局長である、ラフェディン・アーメット氏の「アジアと太平洋地域諸国の地域的提携」についての講演があり、国際Inner Wheel（ロータリアンの夫人の会）創立25周年にインナーホイール国際会長グエンドリン・ボーマン夫人への表彰があり、次いで海洋学者ジョン・ミシェル・クストー氏のビデオをまじえての環境保護講演があり、大変参考になりました。

第3日の本会議は、スベンサー事務局長の年次報告と、財務長ベルナルド・ゴメス・ベガ氏の財務報告、財団ベネファクターの表彰では、日本の第2580地区（東京・沖縄）も表彰されました。1992～93年度のロータリー国際理解賞を、故フレッド・ハロース医学博士（眼科医）におくられ、ガビ・ハロース夫人が挨拶され、ついでロータリー財団が世界保健機構（WHO）からWHOの最高の榮譽である（Health for all）金賞をポリオプラス・

プログラムに対して、団体として始めて受賞されたことが発表された。

同日の午後7時から、国際親善晩餐会が5つのホテルで行われ、私達ガバナー・ノミニーは、ガバナー・ノミニーとクラブ会長エレクトの方々との会場に出席しましたが、丁度私のテーブルには米国のサンフランシスコの女性の会長エレクトと同席し、ロータリーも本当に変わりつつあることを実感致しました。

第4日の本会議は私達ガバナー・ノミニーにとっては大切な会議であり、ガバナー・ノミニーは前列の特別席に座らされ、選挙に入り、先づ1994～'95年国際ロータリー会長に、イギリスのウィリアム・H・ハントレー氏が選ばれ、つづいて、502名のガバナー・ノミニーの認証に賛成の方は「アイ」と言って下さいとの会長の発言に、一斉に「アイ」の声上がり、全員認証され、全員起立し次期地区ガバナーとして選任されたことを受諾し、

その責任を果たすことを誓いました。本当に感激と緊張の一瞬でした。

次いで会長エレクトのロバート・R・バーズ氏の講演で、次期の抱負、88年間私達の組織を支えてきた信念は、人を動かす確固な精神をもって守られていかなければなりません。「行動に信念を、信念は行動に」のテーマのもとに生活するならば、自然に信念と勇気が出て来ます。「ロータリーの目的を信じ、自分の信念を行動に移すロータリアン・特に若いロータリアンが存在する限り、ロータリーはその質と活動力を維持することができる」と言われ、この精神をもって世界中で卓越した奉仕プロジェクトを実施している。

ロータリークラブおよび地区を表彰する「Rotary at it's Best」と呼ぶプログラムを創設されました。私達ガバナー・ノミニーも信念をもって行動をしようと覚悟を新たにしました。

大会プログラムの概要

◇ 5月22日(土)

ホストクラブ主催余興プログラム

妻および次期クラブ会長夫妻の昼食会
ロータリーワークショップ
ホームホスピタリティ

◇ 5月23日(日) ————— 大会第1日

登録、代議員の資格審査、チケット販売
ポールハリスフェロー昼食会
第一回本会議と大会開会式

◇ 5月25日(火) ————— 大会第3日

登録、代議員の資格審査、チケット販売
第三回本会議
元R.I.役員夫妻の昼食会
ロータリーフォーラム
メルボルン大会親善晩餐会

◇ 5月24日(月) ————— 大会第2日

登録、代議員の資格審査、チケット販売
第二回本会議
R.I.会長と地区ガバナー夫妻およびクラブ
会長夫妻の昼食会
次期R.I.会長と地区ガバナー・ノミニー夫

◇ 5月26日(水) ————— 大会第4日

登録、代議員の資格審査
第四回本会議と大会閉会式

1993-'94年度のための地区協議会

とき／5月8日 ところ／ホリデイ・イン豊橋

豊橋北ロータリークラブのホストにより、5月8日(土)神戸政治ガバナー、宮地信尚ガバナー・ノミニー、蜂谷弘道次期ガバナー・ノミニーご指導のもと、総数1,009名が参加し、開催されました。



第2760地区 地区協議会プログラム

次 第	時 間	
登 録	10：00～10：30	
本会義	10：30～11：30	(司会) 豊橋北RC会員 地区ガバナー・ノミニー
点 鐘		小柳津 啓一郎 宮 地 信 尚
国歌斉唱		
ロータリーソング「奉仕の理想」		
開会のことば		実行委員長
歓迎のあいさつ		ホストクラブ会長
特別出席者紹介		地区ガバナー・ノミニー
出席クラブ紹介		実行副委員長
地区ガバナーあいさつ		地区ガバナー
新しい年度の目標について		地区ガバナー・ノミニー
諸事お知らせ		実行委員
昼 食	11：40～12：40	
分科会（9会場）	12：40～14：40	
休 憩	14：40～15：00	
本会義	15：00～15：40	
ガバナー講評		地区ガバナー
ガバナー・ノミニー講評		地区ガバナー・ノミニー
次期ホストクラブ発表		地区ガバナー・ノミニー
次期ホストクラブ代表あいさつ		常滑RC次期会長
ロータリーソング「手に手つないで」		
閉会のことば		実行副委員長
点 鐘		地区ガバナー・ノミニー

第1分科会

〈会長・幹事部会〉

リーダー	ガバナー・ノミニ	宮 地 信 尚
アドバイザー	バストガバナー	近 藤 友右衛門
"	1994～'95年度 ガバナー・ノミニ	蜂 谷 弘 道
"	地区幹事	鈴 木 孝 則
"	次期地区リーダー委員長	岡 本 纓 二
アシスタントリーダー		
"	次期地区幹事	杉 原 彦三郎
"	次期地区会計長	山 口 修 一
"	次期地区資金委員長	宮 本 昌 幸
"	次期地区拡大委員長	水 谷 守 一



宮地ガバナー・ノミニより、ポールハリスは世界が変わるにつれて、ロータリーも変わらなければならないと言われたが「良い事の継続も大切に。」「ロータリアンは常識の付き合いです。」と挨拶された。続いて山口次期地区会計長による地区予算案の説明があり原案通り可決されました。

各リーダーからは、会長は手続要覧を良く読み、幹事は実務を、一体制でチームワーク良く。会長の資格、任務を良く理解して、ロータリーの特長は、(1)理想集団。(2)民主集団。(3)組織集団。(4)奉仕の実践集団。(5)人材集団である等話され。近藤バストガバナーは「会長は時間が過ぎればいいと思っている人、自分がやらなきゃと思わない人は、今すぐやめた方が良い。」と軽妙な口調ではあったが、分科会の引き締めとなりました。

第2分科会

〈クラブ奉仕・会員増強部会〉

リーダー	次期クラブ奉仕委員長	中 尾 敬 三
アドバイザー	バストガバナー	田 中 徹
アシスタントリーダー		
"	次期名古屋第二分区分代理	吉 村 卯一郎
"	次期クラブ奉仕副委員長	服 部 國 男
"	次期会員増強委員長	市 川 裕 士
"	次期広報委員長	小 山 真 吾
"	次期ロータリーの友委員長	高 田 真 吾



中尾リーダーより、クラブ奉仕部門はクラブの生命維持装置のようなもので、多岐にわたる各部門管理に、各委員長の方とはとどいますが、この分科会が参考になれば幸いです。

各アシスタントリーダーからは、クラブ奉仕は4大奉仕中最も基礎的な奉仕部門、ロータリークラブでは初めに親睦があり、これが活動の原点。会員増強については、若い評判の良い人の入会。広報については、新聞社、記者クラブとは懇意な付き合いと定期的な会合を。例会卓話のスピーカーに、新聞記者を呼んでクラブに理解を。ロータリーの友については、ロータリーの友を読み、投稿のお願い等の説明がありました。宮地ガバナー・ノミニより、心暖まるクラブとバランスのとれたクラブ活動を、など活発有意義な分科会を開催できました。

第3分科会

〈職業奉仕部会〉

リ ー ダ ー 次期職業奉仕委員長

アドバイザー バストガバナー

" "

アシスタントリーダー

" 次期東尾張第一分区分代理

" 次期西三河第二分区分代理

" 次期職業奉仕副委員長

伊 藤 寛

大 隅 孝 一 昭

盛 田 和

山 内 鎮 平

杉 浦 義 夫

森 澄



クラブの行う職業奉仕活動として4つのテストの推進。会員事業所の職員の表彰。地域の優良職業人の表彰。職場訪問・例会。職業宣言の配布。就職相談、職業指導、職業情報、職業活動表彰の4委員会を設置。新しく職業につく為の成人再教育。職業選択の援助、引退者のボランティアへの仕事につける活動、我が国でも障害者、在留日系人、財団留学生、米山奨学生への援助等のボランティア活動が、職業奉仕委員会にとりこまれる時代になりましたと報告をされました。

以下地区内活動の紹介がありました。職業奉仕活動優秀クラブとして、瀬戸北RC、豊橋南RC、碧南RC、名古屋北RCの各事例報告等、職業奉仕活動に対する報告と盛田P.D.Gよりアドバイスがあり効果的な分科会でした。

第4分科会

〈社会奉仕部会〉

リ ー ダ ー 次期社会奉仕委員長

アドバイザー バストガバナー

アシスタントリーダー

" 次期西尾張分区分代理

" 次期西三河第一分区分代理

" 次期社会奉仕副委員長

" 次期環境保全委員長

" " 副委員長

石 川 和 昌

福 田 浩 三

荻 本 鉄 夫

成 田 敏 園

上 村 晋 也

田 中 清 隆

神 谷 邦 雄



石川リーダーより、分科会の意義と参加者に次年度委員長としての心構えを説明、積極的な発言と次年度計画にこの会を通じ、何かを摘み取って欲しいと要請があり、また、社会奉仕の具体的な取り組みの一例として、ロータリー地域共同隊の説明と豊橋R.I.地区共同隊T.E.C.の事例報告がありました。

各アシスタントリーダーからは、環境保全の重要性、530運動の様に全国的に広まり、2,300万人が同調。社会的連帯意識の醸成、物の大切さ、青少年教育への貢献、物から心の問題の必要性、行政の届かない所の心のこもった奉仕、個人の社会奉仕の重要性等、クラブが地域にふさわしい活動を創意をもって立案、実行して欲しいと要望されました。その後質疑応答、福田アドバイザーの締めで終了しました。

第5分科会

〈国際奉仕部会〉

リーダー 次期国際奉仕委員長
アドバイザー バストガバナー
アシスタントリーダー

大野 義彦
加藤 直一郎

〃 次期東三河分区分代理
〃 次期世界社会奉仕委員長
〃 次期青少年交換委員長
〃 〃 委員
〃 次期国際友好委員長
〃 次期国際奉仕副委員長

石川 顕次
片山 主水
林 光雄
木 本精之助
伊藤 公正
日比 榮一



大野リーダーから、国際奉仕について総合的な説明を行ない、その概要についてご理解いただいた。

各アシスタントリーダーから、WCSについての説明と、各クラブ平均30万円位の予算計上のお願い。青少年交換について、ガイドブックが配布され、1994～'95年度の募集は、本年7月迄とのことでした。

国際友好について、昨年11月に調査された、地区内の国際交流概況一覧表が配布され、次年度の参考にさせていただきたいと説明がありました。

世界親睦活動と世界理解月間の説明がされた。今回の国際奉仕部門の分科会が、その協議内容の豊富さと真剣な協議によって、更に大なる収穫を得たことに対して、心からお礼を申しあげますと締められました。

第6分科会

〈青少年活動部会〉

リーダー 次期青少年活動委員長
リーダー代理 次期青少年活動副委員長
アドバイザー バストガバナー
アシスタントリーダー

内山 卯郎
小保川 二
高沢 隆

〃 次期名古屋第一分区分代理
〃 次期インターアクト委員長
〃 次期ローターアクト委員長
〃 次期ライラ委員長

林 永治郎
松 前憲典
野 崎洋二
北 秀之



高沢アドバイザーから、青少年との親睦と奉仕活動を通じ、人々との間により良い信頼関係を高めていくことを重点目標。

1. 青少年活動部会の一層の推進。
2. ローターアクト・インターアクト・ライラを通じてのクラブ活動の充実。

各アシスタントリーダーより、地域住民に愛される活動の展開と青少年に魅力あるクラブに取り組みたい。Y.M.C.A.90周年事業に協賛し、視聴覚障害者の福祉キャンプ設営活動を推進中。

インターアクトについて、光ヶ丘高校が情熱と勇気を以て活動を展開中。ローターアクトについてメンバー増員と「もっと、何か」の親睦と奉仕を展開。ライラについては、第2回会議を春日井RC5周年記念事業として、愛知研修センターにて3月19日～20日に開催予定の報告があり終了となりました。

第7分科会

〈ロータリー財団部会〉

リーダー	次期ロータリー財団委員長	星 野 充
アドバイザー	ガバナー	神 戸 政 治
アシスタントリーダー		
"	次期ロータリー財団副委員長	近 藤 三 吉
"	次期財団奨学金委員長	小 出 忠 孝
"	" 副委員長	津 田 雄 一
"	次期財団学友会委員長	矢 島 茂

1993 94年度のための 国際ロータリー第2760地区 地区協議会

第7分科会 ロータリー財団部会



星野リーダーから、次年度地区財団の寄付金は一人100ドル、地区で50万ドルという目標設定につき、説明と要請がありました。

続いて、ロータリー財団、ベネファクターについて各説明がなされた。

各アシスタントリーダーからは、シェアシステムについての説明がありました。

奨学生募集要綱については、5月20日の締切日がせまっているので早期提出の要望がありました。

財団学友会の現況と今後の課題について、追跡調査しているが、辞退者、留学終了後の音信不通の問題を説明されました。

最後に質疑応答では、相当突っ込んだ問題提起があり、予想外の関心の深さに、敬意と手ごたえ十分の感触を得た内容のある財団分科会でありました。

第8分科会

〈米山記念奨学会部会〉

リーダー	次期米山記念奨学会委員長	米 田 春 雄
アドバイザー	バストガバナー	奥 谷 博 俊
アシスタントリーダー		
"	次期尾張第一分代理	松 本 宏 平
"	次期米山記念奨学会副委員長	小 田 公 平



奥谷アドバイザーよりご挨拶をいただき、米田リーダーから、この一年間米山記念奨学会に対し、各クラブのご理解とご協力をお願いされました。

奨学会について、歴史、目的と意義、世話クラブおよびカウンセラー制度について説明。組織と運営、奨学生の募集についての注意事項。奨学金制度、寄付金の種類と免税措置の特典について説明がなされました。

本年度の入会希望者は、71名でしたが、23名が新米山奨学生となりました。一人でも多く採用するには、地区の寄付金を増していただく協力が必要である。米山奨学生とカウンセラーの関係は、国際親善と国際理解であると言われています。そして、マニュアル・資料等以外、色々のお話と質疑で、有益な分科会となりました。

第9分科会

〈新会員懇談会部会〉

リーダー バストガバナー

アシスタントリーダー

〃 次期地区リーダー副委員長

〃 地区会計監事

森 泰 樹

稲 垣 孝 憲

大 竹 和 美



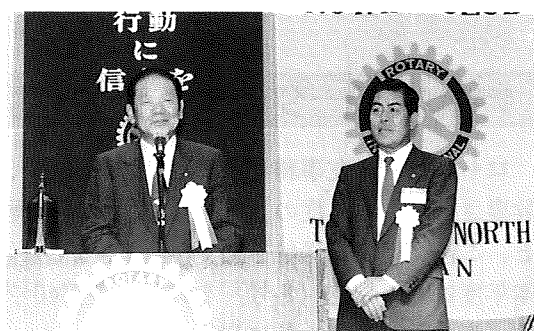
270名を超える人数のもと、森リーダーより分科会の主旨についての説明があり、つづいて、次の項目について説明がありました。

1. ロータリアンには上下はない。会員身分は平等である。
2. メークアップの奨め。
3. 出席の大切さ。

各アシスタントリーダーからは。

1. ロータリーとは何か。
2. 役員一年交替制と奉仕活動関係について。
3. 新会員に望むこと。
4. 手続要覧を良く読むこと。
5. ロータリーは、アイサーブに重点。
6. 趣味を通じてロータリーを好きになろう。

大竹アシスタントリーダーの、マジック披露とスピーチで、和やかな雰囲気の内を終了しました。



第2760地区ニュース・その他

事務局移転のお知らせ

※岡崎南ロータリークラブ

〈1993年7月1日より〉

場 所 〒444 岡崎市康生通西3-15-7
西三河総合ビル 3F

T E L (0564) 25-4437 (変わらず)

F A X (0564) 25-0048 (変わらず)

※田原パシフィックロータリークラブ

〈1993年6月1日より〉

場 所 〒441-34 愛知県渥美郡田原町大字
田原字巴江12-1
華山会館 二階

T E L (05312) 2-5955

F A X (05312) 2-5955

※名古屋空港ロータリークラブ

〈1993年5月10日より〉

場 所 〒450 名古屋市中村区名駅
4-3-10
東海ビル 611号室

T E L (052) 561-2405

F A X (052) 571-2867

例会時間変更のお知らせ

※田原パシフィックロータリークラブ

時 間 19:00~20:00 〈1993年7~9月〉
(10月以降、18:30~19:30)

例会曜日変更のお知らせ

※奥三河ロータリークラブ

〈1993年7月5日より〉

新例会曜日 毎週月曜日

時 間 12:30~1:30

クラブ会長変更のお知らせ

※小牧ロータリークラブ

会 長 鶴飼昭彦 シニア (男子下着製造)
城北ニット(株)代表取締役

勤務先 〒462 名古屋市北区駒止町1-15-1

T E L (052) 911-2371

自 宅 〒462 名古屋市北区駒止町1-50-2

T E L (052) 916-2033

インターアクトクラブのお知らせ

※第4回 (通算第30回)

R.I.第2760地区

インターアクトクラブ協議会及び
海外派遣壮行式について

1. 日 時 平成5年7月25日(日)

2. 場 所 岡崎信用金庫本店
(2階、8階、10階)

〒444 岡崎市管生字元管41番地

T E L (0564) 21-6111

3. テーマ さわやか体験、新しい自分を見つかるために。

新年度分 ロータリーの友 英語版

ご注文受付中

ロータリーの友事務局より7月1日付で、幹事さん宛に本年度の「友」英語版刊行計画と、ご注文用紙を送付させていただきました。本年度は39年号誌(冬号)を11月に、第40号誌(春号)を来年4月に刊行の予定です。

〈グリーティング・カード付〉

クリスマス・カード代わりにお使いいただけるよう、冬号は表紙と目次の間に色刷り美麗のグリーティング・カードを添付します。サイン欄も設けてあります。

〈その他の活用方法〉

- (1) 海外の姉妹RCに定期送付。
- (2) 1994年度国際大会（台北）参加の際に携行し、外国の会員に配布する。
- (3) 海外でメイクアップのとき贈呈する。
- (4) 各種ロータリー交換学生（派遣・受入れ）本人及其のホスト、カウンセラーに贈呈する。
- (5) 地区の図書館または高校、大学の図書館に定期的に寄贈する。
- (6) 海外の取引先に贈呈する。

- (7) R.I.発行の公式名簿を利用して、外国のRCの会長に贈呈。（例、同じ頭文字のRC会長に贈る）

代金は1口分（39号と40号誌各1冊）1,000円国内郵送料込み。但し1冊につき消費税15円を申し受けます。

〈海外代行郵送もいたします〉

先方の住所、ご氏名をいただければ、代行郵送もいたします。国際奉仕の一助として、ぜひご利用ください。

ロータリー文庫通信

〈第69号〉

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力ご愛顧を賜り衷心より感謝致しております。今更申し上げるまでもなく「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、すでに20年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万7千余点が収集、分類、整備され皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のために、ぜひご活用くださるようお待ちしております。

—— ご 利 用 方 法 ——

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や通信によるお問い合わせも承ります。お問い合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

〈文庫資料をご希望の場合は〉

- 発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介します。
- 絶版のものは実費（1枚20円と送料）で、コピーサービスを致します。
- 重複資料はご希望により無料進呈致します。

〈貸し出し〉

- 一般資料（印刷物）の貸し出しは出来ませんが視聴覚（ビデオ、スライド、フィルム）は予約制（申込用紙有）で貸出します。

〈登録資料の紹介〉

- 「資料目録」をクラブ事務所に備付用として1セット（3冊）お送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせていただき、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。

〈ご寄贈〉

- 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々。いずれも内外問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせていただきます。

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3

a b c 会館・7階

☎ (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

午前10時～午後5時 休館／土・日・祝祭日

◇ 半年間に登録された資料の中から ◇

- 「ROTA RACT 1990～1991年度R.I.アジア第1・第3ゾーンローターアクト研修
会報告書」 D.257 RAC 1991年 40頁 [申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- 「国際ロータリー並びに国際ロータリーのロータリー財団 1991-'92年度年次報告」
R.I. 1992年 20頁 [申込先 日本支局 ☎ (03) 3355-5391]
- 「ロータリー米山記念奨学会史 1967～1992」ロータリー米山記念奨学会 1992年 183頁
[申込先 米山記念奨学会 ☎ (03) 3434-8681]
- 「東マレーシア植林研修旅行実施概況報告書 (D.2620地球環境保全プロジェクト)」
池戸正巳 1992年 7頁 [申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- 「日本ホームステイ青少年派遣団研修参加報告書・主催 釜山光復R.C.」高島R.C.
1992年 35頁 [申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- 「ロータリーのしくみ 改訂版」旭川北R.C. 1993年 62頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- 「クラブ奉仕委員長のしおり」麻植 晃 1993年 69頁
[申込先 徳島南R.C. ☎ (0886) 22-3113]
- 「ロータリーと人生ーロータリーをもっと深くー」牧内 操 1993年 27頁
[申込先 牧内 操:会社 ☎ (048) 256-3414]
- 「1992～1993年度D.2710ロータリー情報セミナー」
＜ロータリーの歴史と本質論 松尾 明／ロータリー情報委員会の責務について／他＞
D.2710 1993年 26頁 [申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

<ビデオ>

- 「まことの幸福は人助けから」
(D.2770 1992年IAC地区大会記念講演) 関 實 1992年 60分
[申込先 ロータリー文庫 (貸出・コピー)]
- 「地球環境保全と日本のかかわりー熱帯林破壊の問題を中心として…」
(舞鶴東R.C. 例会卓話) 寺田武彦 1993年 30分
[申込先 舞鶴東R.C. ☎ (0773) 62-2621]

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園 2-6-3 a b c 会館 7階 ☎ (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日